

81.9.21

No. 850

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五(六・公衆)〇三三(二二)七二〇七

三里塚・ジェット闘争貫徹ノ「国鉄35万人体制」粉碎!

各支部、創意あふれる とりくみを開始!

才六回定期大会(10/10)を成功させ、
10・11三里塚総決起をかちとろう!

来たる十月九日(十日)の動労千葉第六回定期大会に引き続く十・一一三里塚現地闘争は、政府・支配階級のすさまじい軍事大国化・核武装化・憲法改悪一戦争と反動政策に対決するこの秋の闘いの大きな焦点となりつつある。

われわれは、第六回定期大会を「軍事大国化・改憲攻撃と対決する自前の労働運動構築」にむけ、圧倒的に成功させ、十・一一総決起をかちとり、反対同盟を守り抜き、三里塚二期工事で着工粉碎・戦争への道を阻止するため闘い抜かなければならない。

各支部、創意あふれる情宣活動を 活発に展開

現在、各支部で第六回定期大会の成功と10・11総決起にむけた創意ある情宣・オルグ活動が開始されている。

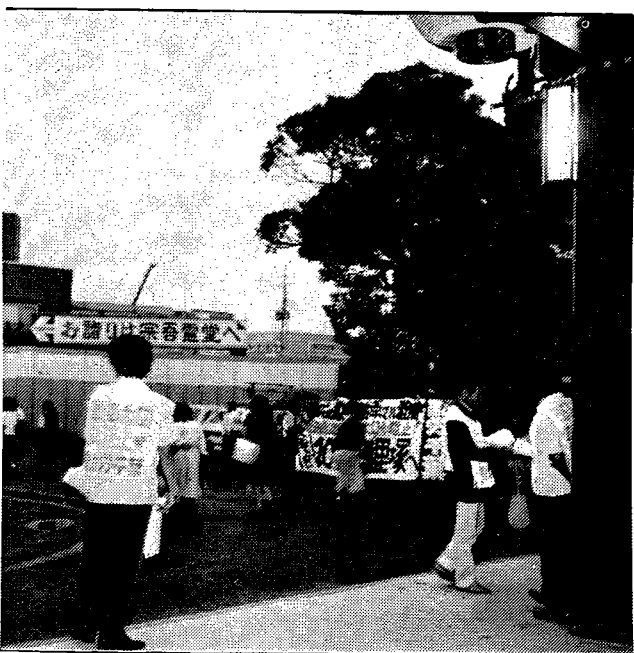
定期大会成功にむけて、代議員を先頭とする傍聴動員の取組み、そして、支部執行委員会の開催・職場討議などが行なわれ、これと併行して10・11三里塚総決起へむけた取組みも活発に展開されている。庁舎前には、「10・11三里塚へ」と大書きされた大きな「タテカン」が出されている支部。支部・青年部役員・活動家による定期大会への傍聴動員オルグと併行した十・一一動員オルグ。あるいは、支部独自の駅頭宣伝行動。支部情報・青年部情報、「カベ新聞」による情宣活動。などなど。各支部・青年部による活動が精力的に取組まれている。

わが動労千葉の組織破壊・解体のみを目的に権力への告訴一告発という労働組合にあるまじき行為に走り、完全に権力の側に移行し、権力と一体となった攻撃をかけている動労「本部」反動分子・革マル派は、今日、三里塚二期着工攻撃が強められている中で、「三里塚反対同盟は、援農や現地集会をくいのものにし、私腹を肥やしている」などという全く許すことの出来ないデマ宣伝と敵対を行なっている。

われわれは、動労千葉・三里塚反対同盟など闘う組織への権力と一体となった革マル派の敵対を粉碎し、第六回定期大会の圧倒的成功をかちとり、そして10・11総決起をかちとろうではないか。



大会の成功と10・11総決起の準備が進む。(千葉運動区にて)



成田駅頭で街頭宣伝に起つ

成田支部青年部が先陣切って決起
九月九日、成田支部青年部は、成田駅頭において、10・11三里塚二期工事着工阻止闘争へ向けた街宣を行なった。

街宣は、支部役員と共に青年部十五名が参加、二期阻止と書かれたゼッケンで身を包み、横断幕や組合旗を張りめぐらした宣伝カーをくり出し、国鉄成田駅頭で約一時間に亘って行なわれた。支部青年部は、政府・公団のすさまじい二期攻撃を真向から受けて立ち、連日激戦している現地反対同盟農民と固く連帯し、八一一八二年の三里塚二期決戦の大きな闘いの飛躍をかけて、10・11三里塚総決起を訴える手づくりのピラ五〇〇枚を成田市民と周辺住民に手わたし、スピーカーからの強力な訴えをもって、二期決戦への支部独自行動をかちとつたのである。

我々は、戦争のための軍事空港建設を粉碎し、又、「三里塚闘争の終結」などと新たな破壊策動を行ない、「告訴」路線と三五体制の先兵、動労「本部」ファシスト革マルを追放・一掃をめざし、処分攻撃への怒りを10・11三里塚大結集へと結びつけ闘う決意である。(成田支部 A生)